

協力&気付きミックス系

《聖徳太子ゲーム》

(代表3～4名対全員)

〔やり方〕

- グループで聖徳太子役を1名決める。
- グループの人数－1文字の言葉を進行役は考える。

例 5人グループの場合

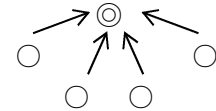
- ・聖徳太子役1名
- ・言葉を言う役4名
- ・進行役は4文字の言葉を考え、1人1文字ずつ割り当てる。

「あさがお」

Aさん→あ Bさん→さ Cさん→が Dさん→お

- ・進行役の合図で4人は一斉に自分の割り当てられた言葉を同時に発する
- ・聖徳太子役は、4人の言葉をしっかり聞き、言葉をつなげ熟語を当てる。

◎→聖徳太子役



○→言葉を発する役

【気付き】

何かをしても人の話を聞くことはできる。しかし、相手が何を伝えたかったのかは、相手を見てしっかり聴くことが大事だということに気付くことができる。

〔留意点〕

- ☆1グループの人数が多いと、言葉の文字数も多くなるので難しくなる。
- ☆拗長音が入ると難しくなる。
- ☆あらかじめグループの人数を把握し、言葉カードを作っておくと、ゲームがスムーズにスタートできる。
- ☆聞くことが難しいという体験をすることがゲームの目的なので、1人1回は聖徳太子役ができるように配慮する。
- ☆6人以上のグループになる場合は、聖徳太子役を1度に2人決め、それぞれの聖徳太子役の人が答えるようにしてもよい。

《言葉の例》※地域の名前や季節に関する言葉等何でもよい。

◇3文字の言葉

- ・あひる ・うちわ
- ・きりん ・コアラ
- ・すいか ・つくえ
- ・テレビ ・時計
- ・アイス ・パンダ
- ・だんご ・カラス

◇4文字の言葉

- ・えんぴつ
- ・おにぎり
- ・たいやき
- ・ネクタイ
- ・ハンカチ
- ・パソコン

◇5文字の言葉

- ・クリスマス
- ・シンデレラ
- ・扇風機
- ・流れ星
- ・ぬいぐるみ
- ・朝ごはん